

1. 教科の目標

- ・豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにする。
- ・手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、作りだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにさせる。
- ・身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心を持ち、それらに対する感覚を高める。

2. 到達目標

観点	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
目標	自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力働かせ、豊かな発想をしたり、作りだしたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、作りだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	ためしながら ぼくの顔 わたしの顔 きせつの中で	・教科書を見ながら、図画工作の学習で大切なことを話し合う。 ・自分の顔をよく見て、絵に表す。 ・季節を感じる材料を集めたり場所を見つけたりする。 ・集めた材料でを組み合わせ、季節も良さを表す。
5	これでかけるよ グルグルかくかく	・集めた材料を活用し、絵に表す。
6	くっつけくっつけ	・引いた線から発想したことをいろいろな表し方で絵に表す。
7	風パワー 全開 心 キラリ	・粘土の特性を生かしながら自分で想像した物を作る。
-		・材料を組み合わせ、動きを確かめながら車体を作る。
9	粘土でお話	・心に残った身の回りの出来事の一場面を絵に表す。
10	きょうかしよびじゅつかん	・できた作品から思いつく話を作る。
11	ふわふわゴーゴー (ポリぶくろを使って) (紙で袋を作って) 段ボールの変身	・作品のよさや面白さなどを味わったり、様々な表現方法の工夫に気づき、そのよさを自分の作品に生かす。
12	そのときの気持ちを大切に	・材料の持つ特徴を生かし、遊ぶ物を作る。
1	みんなで作ろう！夢の町	・材料の特徴を生かしながら、作りたい物を作る。
2	広がれ生き物ワールド	・好きな場面を絵に表す。
3	切って切ってトントントン	・材料を使って、夢のある町を作る。
		・材料を生かして班を作る。
		・けずったものから楽しく遊べるものを考え、楽しみながらつくる。 ・小刀の使い方がわかり、けずる楽しさを味わい、作り方や遊び方を工夫する。 ・みんなで楽しく遊ぶ。

4. 評価の観点・方法

- ・次のような方法で評価していきます。
- | | | | | | |
|-----|--------|----|--------|----------|------|
| 発表会 | 取り組む様子 | 作品 | 用具の使い方 | アイデアスケッチ | 展示方法 |
|-----|--------|----|--------|----------|------|

5. 保護者の皆様へ

図画工作では、学校で注文する教材に他に単元によっては、家庭にある廃材などを利用して創作活動にあたる場合があります。その際にご協力をお願いします。絵の具やカッターナイフなどの学習用具の忘れ物をしないように学校で指導しますが、ご家庭でも注意して頂けると助かります。作品を家庭に子どもが持ってかえたときは、その作品の良さや子どもががんばったところをぜひお話しください。

